



○ 草の根パートナー型

平成21年度第一次補正予算による草の根技術協力事業 緊急経済危機対応-フォローアップ型採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	東ティモール
2. 事業名	コーヒー生産地の女性による生計向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	同国アイナロ県マウベシ郡は、標高1,500メートル前後の山間部に位置し、灌漑、上下水道などのインフラストラクチャがなく、気候も寒冷なためコーヒー以外の農作物の生産が非常に限られている。また、道路事情も劣悪なので農作物の市場への出荷も困難である。よって本提案事業により、市場性において付加価値のつく作物、加工品を開発し、首都に出荷することで、国内での流通販路を確保し、地理的に恵まれない受益者層の収入の道を確保する。
4. 事業の目的	アイナロ県マウベシ郡のコーヒー農家の女性グループが、市場性の高い作物を育成し、食品加工することによって所得を得られるようになる。
5. 対象地域	アイナロ県マウベシ郡
6. 受益者層	アイナロ県マウベシ郡のコーヒー生産者協同組合（ココマウ）の女性グループ80名
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. マウベシ郡の7-8の集落に女性グループを形成する。</li> <li>2. 女性グループのコアメンバーにリーダー育成研修を実施する。</li> <li>3. 農業指導や生産物への加工技術指導を行い、各女性グループがそれぞれ固有の製品の生産を行う。</li> <li>4. 女性グループが連合して製品のマーケティングを行う。</li> <li>5. 女性グループ参加メンバーに生活改善のための目標設定のワークショップを行う。</li> <li>6. 女性グループメンバーに家計簿指導を行う。</li> <li>7. 女性グループの製品の一部は国内市場で流通し、一部はフェアトレード商品として輸出する。</li> <li>8. 他地域の女性グループとの連携によるアンテナショップをディリにつくる。</li> </ol>
8. 実施期間	2009年11月～2012年3月（2年5ヶ月）
9. 事業費	14,996千円（予定）
10. 事業の実施体制	パルシック東ティモール事務所日本人プロジェクトマネージャー、現地調整員および東ティモール人のプロジェクトコーディネータを配置し、各年に日本より栽培・加工・マーケティングアドバイザーとして専門家を派遣し、当提案事業を実施する。また東京事務所においては、国内調整員が当事業にかかる連絡・調整業務を行う。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人パルシック
2. 活動内容	東ティモールおよびスリランカにおけるコミュニティ支援活動、フェアトレード事業
3. 対象国との関係、協力実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1999年～2002年 緊急援助活動実施</li> <li>● 2002年～2003年 アイナロ県マウベシ郡コーヒー生産農民支援</li> <li>● 2003年～2006年 JICA草の根技術協力（パートナー型）アイナロ県マウベシ郡コーヒー生産者共同組合支援事業</li> <li>● 2006年～2009年 JICA草の根技術協力（パートナー型）第2期アイナロ県マウベシ郡コーヒー生産者協同組合支援事業</li> <li>● 2009年～2012年 JICA草の根技術協力事業（パートナー型）コーヒー生産者協同組合モデルの普及（実施中）</li> </ul>